

きれいな水のために

登米市立加賀野小学校

五年 及川 萌

世界にはきれいな水を手に入れるのがとても大変な地域があります。以前、水が簡単に手に入る日本はとでも恵まれていること、そして生命にとってかけがえのない資源である水を大切にしなければならぬことを学びました。では、おいしく安全と思える水はどうやって私たちの手元に届くのでしょうか。

昨年、社会科の勉強で市内の浄水場を見学

しました。浄水場に送られてくる水はとてもしきたない水です。正直に言えば、あのきたない水が本当に飲めるようになるのか信じられない気持ちで、どうやってたらいつも使うきれいな水に変わるのか、ドキドキしながら見学しました。

送られてきた水は、水質検査が行われて薬品の投入量が決められます。その後凝集剤というものを入れて水にふくまれる土や砂などをくっつけて大きくします。この土や砂を水

もともと浄水場に届く水の上ごれが少なければ使う薬の量も少ないからよりおいしい水ができるのです。つまり、自然環境を大切にすることこそがおいしい水に生まれる大きなポイントなのかもしれません。

多くの方の努力によって安心でおいしい水が作られます。でもおいしい水作りのために下がることのあるのに気づきました。小さなことがもしれませんが、油などでよごれた皿などは拭き取ってから洗う、自然に優しい洗

剤を使う・・・一人一人が登米市の豊かな自然を守っていいこうという気持ちや取り組みでいつまでもおいしい水を飲み続けることができるので

浄水場を見学したことで、浄水の仕組みはもちろんですが、私たちに安全な水を届けるために働いてくれる方々への感謝の気持ちと豊かな自然がおいしい水を作り出すことが分かります。おいしい水を口にし続けるために取り組まなければいけない課題が見つかりました。

に沈みやすいフラックというものに育ててか
ら沈んでん池というところに沈めると、上の方
はよごれが見えなくなりました。前に進むほ
ど「きれいな水」というゴールが見えてくる
過程にわくわくしてきました。さらに沈んでん
池で取りのぞけなかつた小さなよごれがろ過
池で取りのぞかれ消毒液を入れて、やっと飲
める水になります。よごれによっていろいろ
な薬の量を変えたり、安全がどうか念入りに
検査して確かめたり、浄水場で働く人たちの

「みんなが安心して使える水を届けたい」と
いう思いが伝わってくるようでした。

先日、テレビを見て「この時と同じよう
な気持ちを感じたことがあります。それは、
カンボジアの子どもたちにきれいな水を届け
るための、日本の技術者たちの挑戦の番組で
した。どろ水を当たり前のようにな飲む子ども
たちに「きれいな水」を届けるために三週間
にわたって井戸を掘った人たちの姿に、国や
方法はちがうけれども、私たちの生活の中

も、きれいで安心して飲める水を提供するた
めに努力してくる人がいることに改めて気
づき感謝しました。

また、その時ふと思いついたことがありま
す。以前、東京に旅行したときに口にしていた水
道の水をおいしくないと感じたことです。お
母さんにも「水道の水は飲まないで、ペット
ボトルの水を飲みなさい」と言われました。
もちろん普段の生活の中で買った水を飲むこ
とはあります。でもそれは決して水道水がま

ずいからという理由ではなく持ち運びに便利
だからというだけの事です。同じ水道水なの
にこのちがいは何だろう、と疑問がわき、浄
水場での様子や説明の話を思い出しました。
水をきれいにするためには薬品を使います。
浄水場でもよごれによつて薬品の量を決めて
いました。ということはいよごれがひどければ
それだけ多くの薬品を使う必要があります。
体に安全な薬であつてもたくさん量を使え
ばにおいや味にも影響が出てくるでしょう。

これらのことをいつも心に留めて生活してい
きたいと思ひます。

水がつかなく気持ち

登米市立新田小学校

千葉 寧々

いつも、わたしは、手がよごれた時などは水道できれいに手を流します。夏には、つめたい氷で手を流うとひんやりしていて気持ちいいです。冬は、温かいお湯で流うのでつかれがとれるような気がします。いつも水を使っているなあと思います。

プールでは、二十五メートルも泳げたのでたくさん水があつてよかつたなと思いました。

もしも、水道がなかったら、ごはんをたたくことができないし、水も飲めません。その中でも一番大変だった時は、東日本大震災の時に、家が流されたいところの人たちが来て、十三人で一ヶ月くらしました。電気もつかない、水道の水も出なくて大変でした。毎日、何回もきゅう水所に、ペットボトルを何本も持って水をくみに行きました。食べる時には、皿をなるべく流わなくていいように、サラララップをひいたりして色々

工夫をしました。トイレの水も流せなくて、
い戸の水をおふろにくんで、バケツで水を運
んだりしました。何て大変なんだと感じまし
た。

どこの家でも水にこまっていたので、じい
ちゃんがい戸の水を分けてあげて、い戸の
水はなくなっしまいました。じいちゃん
は、

「すぐまた水は、わいてくるからだいじょう
ぶだ。みんなに、喜ばれただけでもうれし
いよ。」
と言いました。水のおかげで、みんなの気持
ちがつかうたよう感じました。

水道が出なくて、おふろにも入れない、せ
んたくも出来ない、歯もみがけない日が続き
ました。やっと、水が出た時のうれしさは、
今でもおぼえています。

「水が出たあ、水が出たあ。」
と、みんなで大声をたてて喜びました。そし
て、コップでひさしぶりにいっぱい水を飲む

と、なんとも言えないほどおいしく感じました。これまで、ふつうに使っていた、水がこんなにも大事なんだと初めて気づきました。テレビで、さいがいなどで、何日も見つからなかった人たちが、水だけを飲んで生きていたという話を聞いたことがあります。生きて行くために水は、なくてはならないものだと思います。わたしたちは、毎日、ジャージと流しっぱなしで水を使っています。が、今思うと本当にもったいないことだと知り、

ました。公園などで、遊んでいる時もふん水の水を空まで上げるくらい出して、おもしろがって、みんなでさわいでたこともむだな水を使っていたなあと反せいしました。

東日本大しんさいの体験で色々なことを、教えられました。

世界には、安全な水道がなく、おなかをこわして死んでしまう子どももいるそうです。水があればいいだけじゃなく、安全な水がなければいけません。そのためには、一人一人

が川をよごさないように気をつけなければい
けないと思います。

今まで、きれいな水にめぐまれている事が
当たり前のように思っていました。これが
りは、大事に水を使って行こうと思います。

水での思い出など

登米市立新田小学校

園田 ゆり

体育が終わった後わたしは、ほぼ水を飲みます。水は飲んだ時には、「プール」と言っていてつかれがふき飛びます。

プールにも水を使っています。プールのシャワーもつめたくて気持ちいいです。プールは泳いでも、もぐつても、水で遊んでも楽しいです。水がなかったらせっかくにプールはありません。ほかに、水道の水を使うものなどはいろいろあります。

水道がもしもなかったら、のどが、からっからっになつて、死んでしまいます。あとも水がなくなつたら木が枯れてしまいます。あとも水がなくなつたら木が枯れて空気が悪くなつてしまいます。あとは、水がもしも入れなくなつて体がきれいになくなつて、体がきたなくなつて病気になるやすくなつてしまいます。そのほかにも、水がもしもなくなつたらどうしようと思ふことがあります。

水のおかげだと思ふ事は、たくさんあります。まず一つは、水があればせつたいにプールはできる、なので水のおかげの一つはプールです。二つ目に、水道のおかげだと、思ふ事は、木にあげる水があると、育つていって空気がよくなる、だけれども水があと育つていかないで、空気を悪くなくていって病気になりやすくなったりしていません。三つ目に水道のおかげだと思ふ事は、体をあらう水があつたら体がきれいになつて、病気にならなくて、病気がよくなつた、なつて病気になりやすくなつてしまひます。そして、とても気持ちが悪くさうです。

夏の思ひ出でバに残つていふ事もたくさんあります。まず一つ目は、流しそうめんです。そうめんはつるつるしてて、取りにくかつたけれど、おいしかつたです。あと、流れる水がキラキラしていて、いつもおいしかつたです。二つ目は、絵の具です。書いた後に何回

何回も続けてあらって、やっと作品が作り終
わたりして、水を使って流して、さいしゅう
的には、ふいてもとの所にもどすを、やっと
らやっと終わります、そしていい作品ができ
て、やったーと喜ぶ感じで、終るのです。
三つ目はプールです、プールで初めて泳がた
時は、たあでした。それからいろいろ泳い
だら泳げなかつた、やっと泳げてやったあ、
また喜んだりして、やっとこう泳げるよう
になりました、プールは思い出が、いいばい
あります。四つ目は、田んぼです、田んぼで、
びっくりした事は三つあります、その一つ目
は、冬に水を入れとくとい事は、びっくりし
ました。二つ目は、生き物がいつばい、いる
事です、わたしはたぶん水が入るから虫が、
ばい、いるんだと思います。三つ目は、昔の
人の事です、わたしが一番びっくりした事は、
昔の人は毎回手で植えなき、か、いけなの、が、た
ハてんだなと思ひました、今は、機かいを使っ
て植えられるので、かんたんです、今と昔では、

ぜんぜんちがうなあと思ひました。

水のたいせつさ

石森小五年

阿部

夏海

わたしは、水があれば何でもできると思
 います。料理、お風呂、食器あらい、遊
 ぶこと、たててできます。水があればど
 んなこともできる。人は水にささえら
 れて生きています。この世の中には、水
 を飲めない子どもたちばかりいます。そ
 れにくらべてわたしたちは、幸せな方な
 のです。だから水を大切にしなければ
 なりません。わたしたちには、歯みがき
 の時は、出しっぱなしじゃなく、コップ
 に水を入れる。この他にもたたくす
 人があると思います。ふつうの水もい
 いですけど、あま水も役に立ちますよ。
 雨がふった時に、おけを置いて、雨が上
 がった。そのおけの水を植物とかにか
 けてあげれば、工にもなりますよ。こ
 うい、たことを、わたしは身につけて
 いて、いつか世界の子どもたちをすく
 りたいです。

